

第37回読書感想画中央コンクール

指定図書

小学校低学年の部



あいたくてたまらない
:ももいろの貝とやどかりぼうやのお話
おくやまゆか 著
福音館書店 1,210円



リリの思い出せないものがたり
たかどのほうこ 作 高橋和枝 絵
ポプラ社 1,540円



ガラガラがらくた!?
エミリー・グラヴェット 作 なかがわちひろ 訳
BL出版 2,090円



モリスくんとオレンジいろのドレス
クリスティーナ・バルダチーノ 作
イザベル・マランファン 絵 まえざわあきえ 訳
世界文化社 1,760円

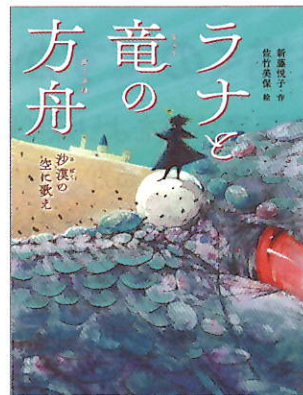
小学校高学年の部



いかだネコG氏12のぼうけん
山下明生 作 高島那生 絵
あかね書房 1,430円



銀樹
森竺こみち 著 日下明 絵
アリス館 1,650円



ラナと竜の方舟
:沙漠の空に歌え
新藤悦子 作 佐竹美保 絵
理論社 1,760円



ダンス・フレンド
カミラ・チェスター 作 柳田理絵 訳
早川世詩男 絵
小峰書店 1,870円

中学校・高等学校の部



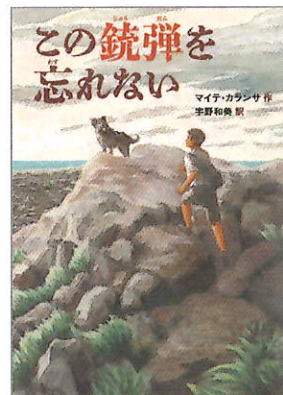
やなやつ改造計画
吉野万理子 著
あすなる書房 1,760円



ミルキーウェイ
:竹雀農業高校牛部
堀米 薫 作
新日本出版社 1,650円



七月の波をつかまえて
ポール・モーシャール 作
代田亜香子 訳
岩波書店 2,090円



この銃弾を忘れない
マイテ・カランサ 作 宇野和美 訳
徳間書店 1,870円



クマはなぜ人里に出てきたのか
永幡嘉之 文・写真
旬報社 1,870円

※すべて税込み価格

第37回読書感想画中央コンクール／応募要項

実施地域

38都道府県(山口県、九州地区8県を除く)

応募資格

小学生・中学生・高校生(満20歳以下に限る)

応募区分(4部8区分とする)

- ① 小学校低学年の部(1・2・3学年)指定読書・自由読書
- ② 小学校高学年の部(4・5・6学年)指定読書・自由読書
- ③ 中学校の部(全学年)指定読書・自由読書
- ④ 高等学校の部(全学年)指定読書・自由読書

指定読書: 主催者が指定した図書(本欄)の感想画。
自由読書: 自由に選んだ図書(指定図書以外の図書で、海外で出版された図書・日本語以外の図書・教科書・副読本・読書会用テキスト類またはそれらに準ずるもの、および雑誌・付録は除く)の感想画。ただし、指定図書であっても該当の部以外であれば、自由読書として応募できる。

用紙・画材

用紙は、画用紙・ケント紙・キャンバスボード・マニラ紙・ボール紙いずれでもよい(ワク張りキャンバスや木製パネル等厚みのある作品は不可)。
画材は、クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。版画・はり絵も可とする。

寸法

感想画の寸法は、36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下の大きさとする。

Webサイト

<https://www.dokusyokansoubun.jp/kansouga/>

入賞発表

2026年2月下旬予定

表彰

▶個人賞／文部科学大臣賞4名(各部1名)・優秀賞8名(各部2名)・優良賞16名(各部4名)・佳作4名(各部1名)・奨励賞(上記入賞者以外の各都道府県代表作品)▶学校賞／文部科学大臣賞、優秀賞、優良賞を受賞した児童生徒の在籍校▶TOPPAN賞／文部科学大臣賞を受賞した児童生徒の在籍校

お問い合わせ

- 毎日新聞社 読書感想画中央コンクール事務局
TEL: 03-6265-6816
- 公益社団法人全国学校図書館協議会
読書感想画中央コンクール事務局
TEL: 03-6284-3722(代)

※いずれの問い合わせ先も、土・日・祝日を除く午前10時～午後5時

主 催: (公社)全国学校図書館協議会／毎日新聞社／実施都道府県学校図書館協議会
後 援: 文部科学省／実施都道府県教育委員会／横浜市・名古屋市・大阪市各教育委員会／全国造形教育連盟
協 賛: TOPPANホールディングス株式会社
特別協力: 株式会社竹中工務店／あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

読書感想画 Q&A

「読書感想画って何?」「どんな本を読んだらよいのかわからない」「どうやって描いたらよいのかわからない」…そんな声にお答えします。さあ読書感想画にチャレンジしよう!

第

37回

読んだ感想を 絵に描こう

読書感想画 中央コンクール



主催：(公社)全国学校図書館協議会／毎日新聞社／実施都道府県学校図書館協議会
後援：文部科学省／実施都道府県教育委員会／横浜市・名古屋市・大阪市各教育委員会／全国造形教育連盟
協賛：TOPPANホールディングス株式会社
特別協力：株式会社竹中工務店／あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

Q1. 読書感想画ってどんな絵ですか。

A. 「読書感想画」とは、本を読んで、「おもしろい!」「楽しい!」「よかった!」「すてきだ!」「いいな!」と感じたことや印象をもとに、表現した絵のことです。本を読んだイメージをもとに自分の感動を伝えるために描いた絵です。

Q2. どうして読書感想画を描くのですか。

A. 読書の感動を絵に描くことは、あなたの読書体験をより深く豊かなものとします。どうやって自分のイメージを色や形にするか、構図はどうするかなど、手を動かし頭を働かせることがあなたの表現力や発想力・想像力を鍛えます。

Q3. どんな手順で絵にしたらいいですか。

A. 次の手順で描いてみましょう。①まず本をしっかりと読み込むことです。気に入ったところを繰り返し読んでみてもいいでしょう。②本を読んで、頭に浮かんだ印象やイメージを言葉や簡単な絵でメモしてみましょう。③言葉や絵のメモをもとに、どんな画面にしたら自分の思いや感動を表せるか、いくつか下書きをしてみます。その中から選んだり、組み合わせたりして画面の構成を考えましょう。④どんな紙に、どんな画材で表現するともっとも効果的なのか、いろいろと試して、配色や構図を考えて制作しましょう。

Q4. 指定読書・自由読書って何ですか。 どんな本を読めば絵に描きやすいですか。

A. 感動や感想を絵に表しやすい本として主催者が選定した本を指定図書といいます。その本をもとに読書感想画を描くのが指定読書です。それ以外の本を読んで読書感想画を描くのが自由読書です。日本や外国の物語・ノンフィクション・エッセイなど、いろいろな本を読んでもみましょう。きっと「おもしろい」「感動した」と思える本に出会えるはずです。何度か読み返すとそのたびに新しい感動や発見があり、いろいろなイメージが浮かんできます。読んだ感動を伝えたいような本を選ぶことが大切です。

Q5. どんなもので、何に描けばいいですか。

A. 応募要項に決められた大きさなら、どんな種類の紙に描いてもかまいません。画用紙、色画用紙、ケント紙、和紙など、何でもいいのです。版画や貼り絵でもかまいません。画材も水彩絵具に限らず、色鉛筆やマーカー、クレパス、パステルなども可能です。ただし、大切なことは読書で得た感動を伝える工夫です。特別な技法や画材を使ったからよい絵になるわけではありません。

Q6. 表紙や挿絵、映画やマンガのまねをしてもいいですか。

A. 表紙や挿絵は、本の内容をわかりやすく伝えるように専門家が描いたものです。また、本の中には、映画やテレビ、マンガやアニメになっている作品もあり、そういうものをまねしたくなるかもしれません。でも、他の人の絵を写したり、まねしたりすることは、あなたの得た感動をあなた自身が表現することにはなりません。

Q7. 作画感想はどう書けばいいですか。

A. あなたが読書でどういう感動を得たのか、どういう思いでこの絵を描いたのか、絵を描いたときにどういう工夫をしたのかなどを作画感想にまとめましょう。そうすれば本を読んで得た感動や絵への思いが、読書感想画を見る人によりよく伝わるようになります。

Q8. 今までどのような作品が受賞しましたか。

A. 第36回読書感想画中央コンクールの文部科学大臣賞受賞作品は以下の通りです。
※受賞者の学校名・学年は、受賞年度のもので。



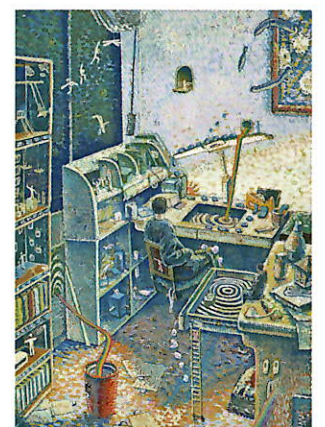
【小学校低学年の部】
徳島県吉野川市立知恵島小学校
1年 西村咲希
「ちびトラとわたしとこうえん」
〈読んだ本〉
『こっちにおいてよ、ちびトラ』
徳間書店



【小学校高学年の部】
島根県江津市立高角小学校
6年 藤井さくら
「クモの探偵団、沖縄へ」
〈読んだ本〉
『すごいぞ!クモの探偵団』
あかね書房



【中学校の部】
徳島市上八万中学校
2年 太田湊里
「次の私に」
〈読んだ本〉
『ぼくらが大人になる日まで』
講談社



【高等学校の部】
静岡県浜松学芸高等学校
2年 加藤柊例
「Merak」
〈読んだ本〉
『うたうおばけ』
講談社